

十月十九日・二十日は恵比寿祭です

釣竿を肩に鯛を小脇に抱えている恵比寿様は 昔から商売の神様として崇められ 以前は旧暦の十月二十日を祭日にして居りましたが 今では新暦の十月二十日を祭日として居ります その宵宮である十月十九日に べつたら市がたちべつたらが売り出されたものだそうです

当社の恵比寿神は大阪の今宮戎 兵庫の西ノ宮戎と御同神で 江戸時代四代將軍家綱の頃(寛文年間今から三百五十年前) 奉齋されたもので江戸時代から最も古い由緒のあるものであります

斯様に由緒正しく古い歴史のある御加護多い梶森恵比寿神大祭も 一頃淋しく過ごした時代もありましたが氏子崇敬者各位の熱心な御協力御奉賛によりまして 年毎に盛大になり本年も十九日午後六時から大祈禱祭を厳修して皆様の商売繁昌福徳増進を祈念致すと共に

十九日 午後六時半より九時まで

演芸奉納

二十日 午後二時より九時まで

神楽奉納

を致す他崇敬者各位の福籤を致す事になっております 又奉納提灯や露店も例年より多く賑やかに行いたいと存じますので 皆様もお揃いにて御参拝恵比寿神の御加護をお受け下さいまして 益々御繁栄下さいませ願ひ申し上げます

平成三十年十月吉日

梶森のもり
梶森神社

氏子崇敬者各位